

子どもと子育て家庭を取り巻く状況

1. 釧路市の現状

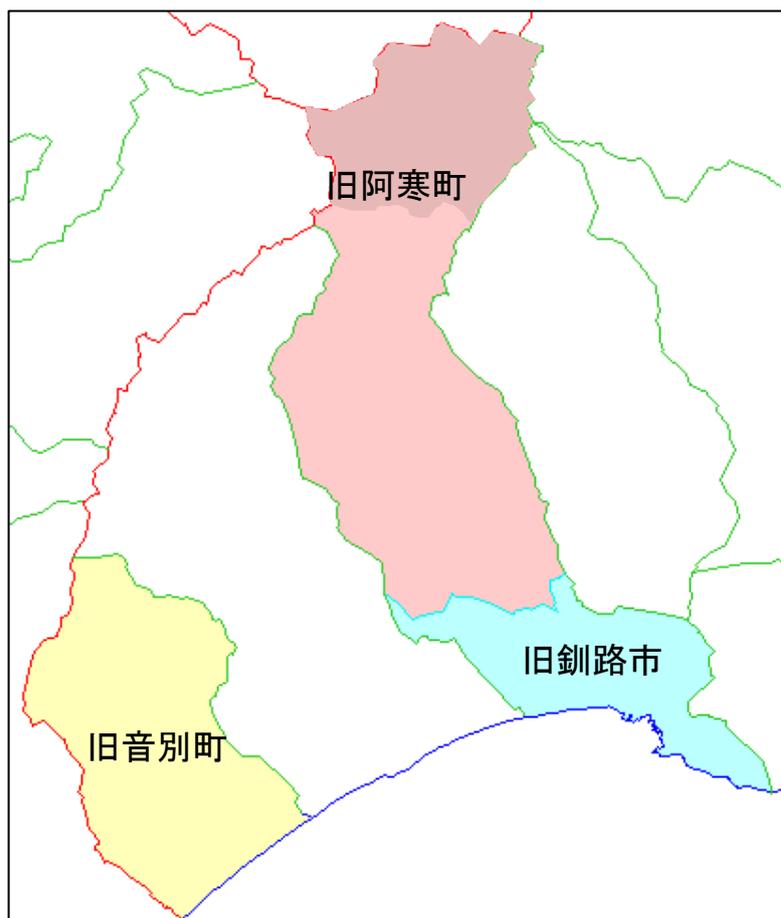
(1) 地勢と概要

釧路市は、北海道の東部、東経144度22分24秒、北緯42度58分10秒に位置し、行政区域の総面積は、1,362.92km²となっています。

阿寒摩周、釧路湿原の2つの国立公園をはじめ、海、山、湿原、湖沼、河川など多彩で雄大な自然に恵まれています。

また、日本有数の漁業基地や酪農業、林業と石炭鉱業、製紙工業、観光業を基幹に、さらに商業などを含めた産業が港湾機能に支えながら発展し、産業経済、交通、教育、文化、医療などの都市機能が集積し、近隣地域での中核都市としての機能を兼ね備えています。

平成17年10月に釧路市、阿寒町、音別町が合併し、現在の釧路市となっています。



(2) 人口の動向

① 年齢3区分別人口の推移と今後の推計

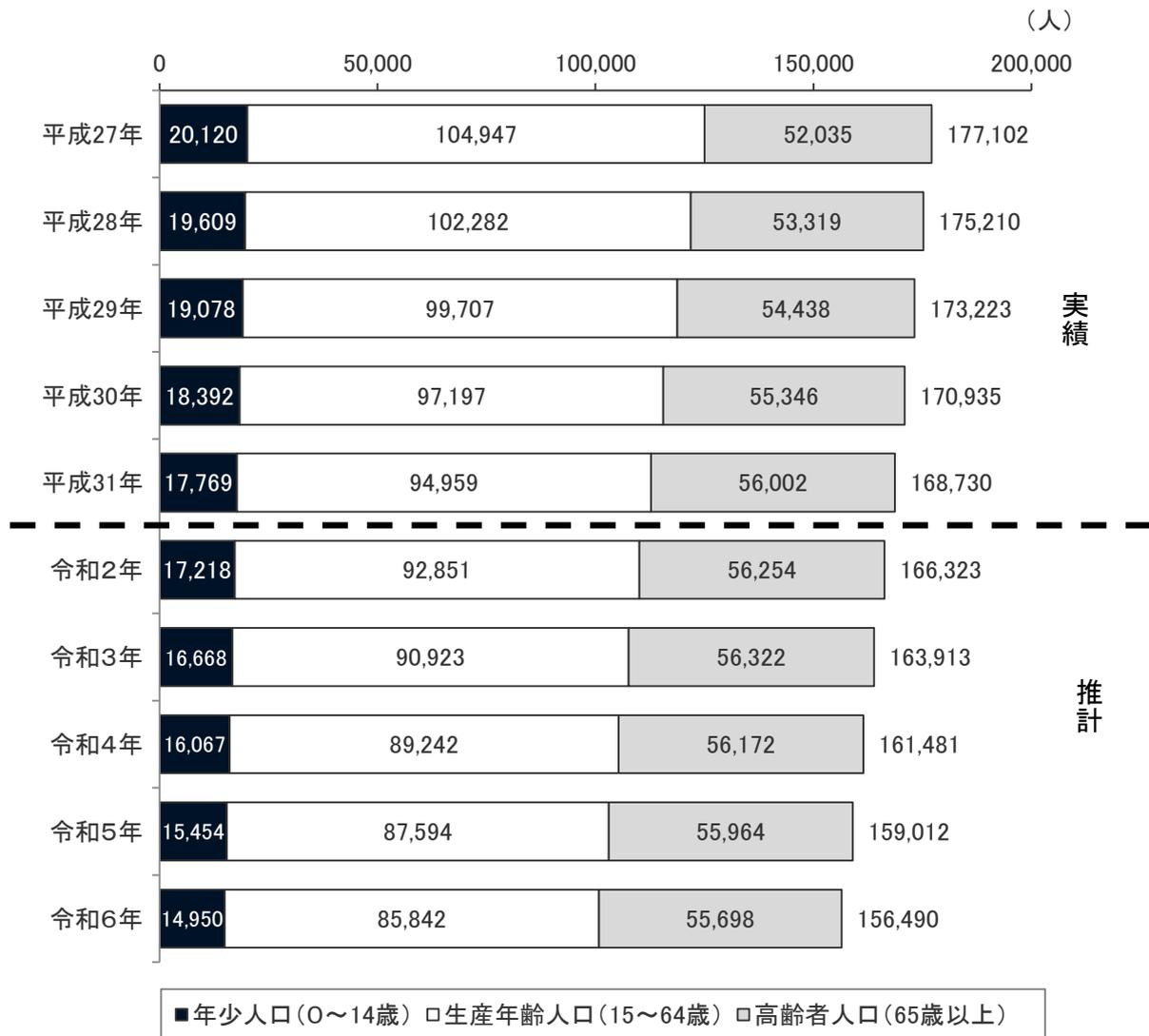
平成31年3月末時点の人口総数は168,730人で、平成27年以降、減少傾向で推移しています。

年齢3区分別にみると、生産年齢人口（15～64歳）及び年少人口（0～14歳）は減少している一方、高齢者人口（65歳以上）は増加しており、少子高齢化が進行しています。

今後の推計においては、引き続き生産年齢人口（15～64歳）及び年少人口（0～14歳）が減少し、令和6年の総人口は、156,490人となることが見込まれます。

なお、高齢者人口（65歳以上）は今後も増加していくことが予想されるものの、令和3年をピークに減少に転じることが見込まれています。

■ 年齢3区分人口の推移と今後の推計



資料：平成27年～平成31年：釧路市住民基本台帳（各年3月末）

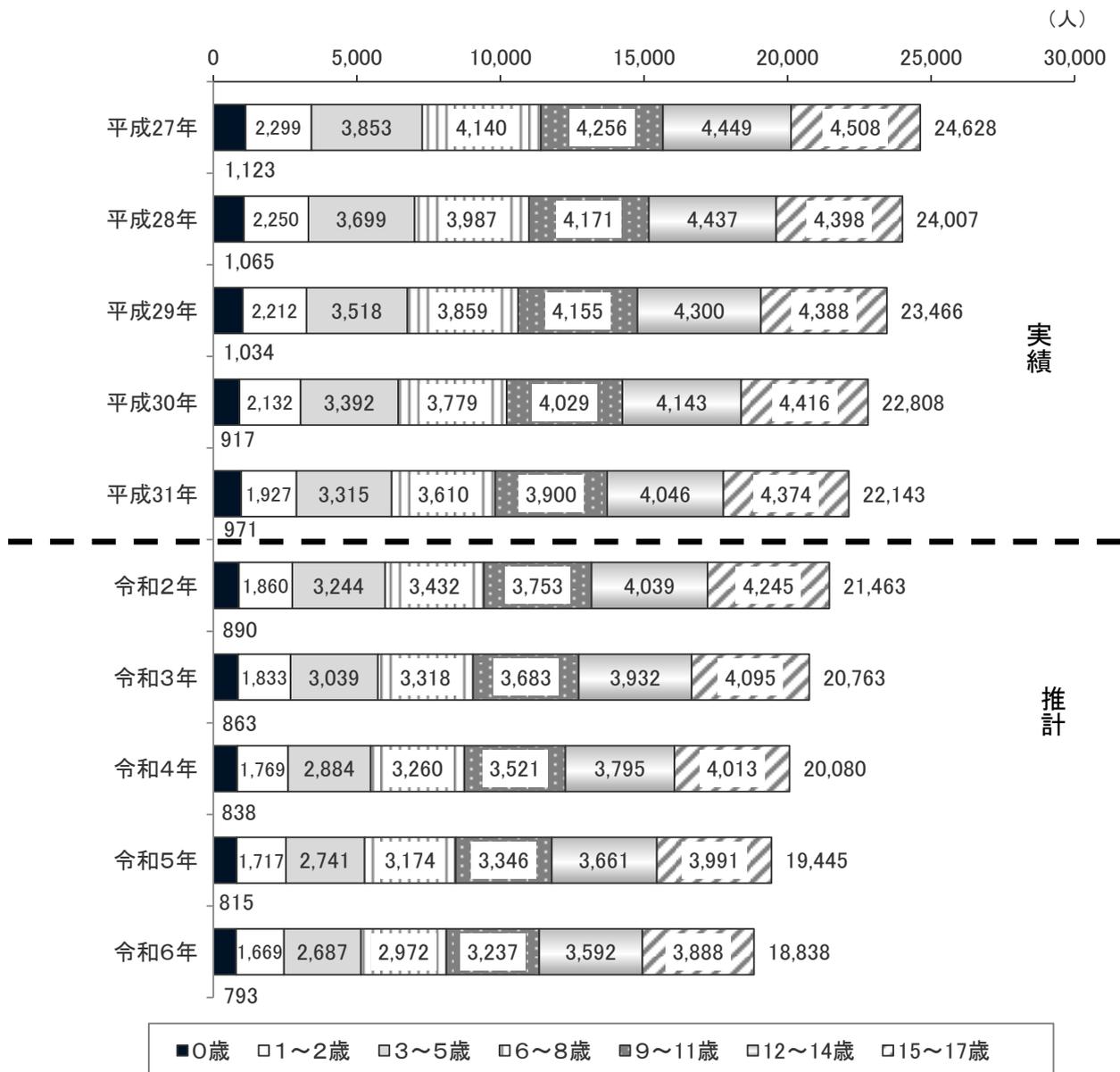
令和2年～令和6年：釧路市住民基本台帳（各年3月末）を基にコーホート変化率法を用いて推計

② 18歳未満人口の推移と今後の推計

18歳未満人口は、減少傾向で推移しており、平成31年3月末時点で22,143人と、平成27年と比較すると2,485人減少しています。

今後の推計においても、引き続き減少傾向で推移していくことが見込まれ、令和5年以降は、2万人を下回って推移していくことが予想されます。

■ 18歳未満人口の推移と今後の推計



資料：平成27年～平成31年：釧路市住民基本台帳（各年3月末）

令和2年～令和6年：釧路市住民基本台帳（各年3月末）を基にコーホート変化率法を用いて推計

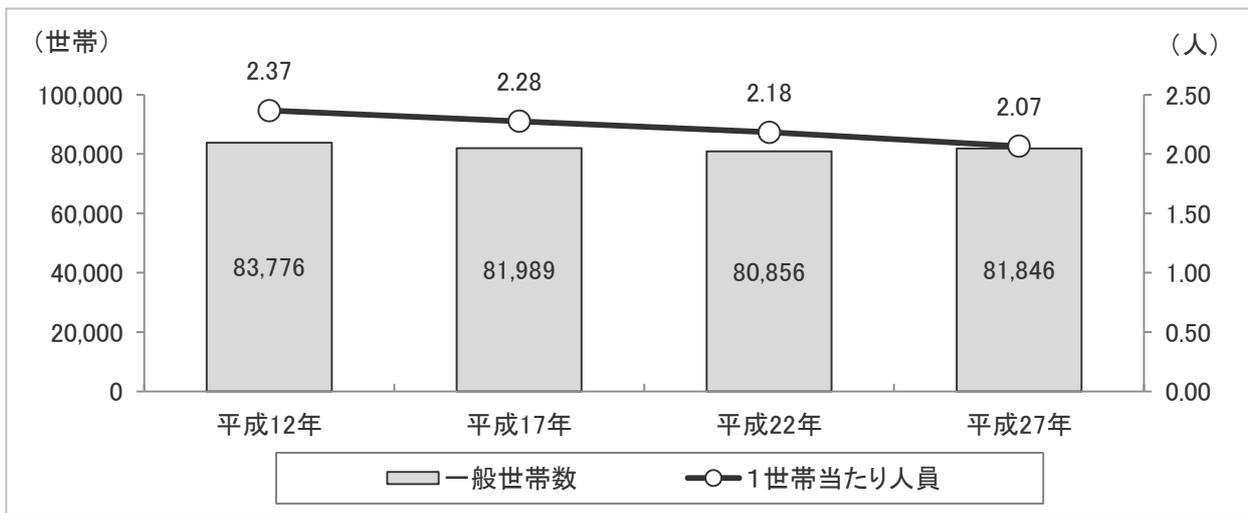
(3) 世帯の状況

① 一般世帯数、1世帯当たり人員の推移

国勢調査をみると、一般世帯数は減少傾向で推移してきましたが、平成27年は増加に転じています。一方、1世帯当たり人員は一貫して減少傾向で推移しており、核家族化が進行していることがうかがえます。

また、6歳未満親族のいる世帯及び18歳未満親族のいる世帯の核家族世帯が占める割合は、約9割を占めており、特にこの傾向が強くみられます。

■ 一般世帯数、1世帯当たり人員の推移



資料：世帯数：国勢調査（各年10月1日）、

1世帯当たり人員：国勢調査（各年10月1日）から算出

■ 一般世帯における家庭類型

単位：世帯

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	6歳未満親族のいる世帯 (平成27年)	18歳未満親族のいる世帯 (平成27年)
一般世帯総数	83,776	81,989	80,856	81,846	5,391	14,487
A 親族世帯	57,951	55,540	52,616	49,477	5,376	14,337
I 核家族世帯	51,521	49,476	47,429	45,098	4,897	12,751
II その他の親族世帯	6,430	6,064	5,187	4,379	479	1,586
B 非親族世帯	333	496	692	671	15	65
C 単独世帯	25,492	25,953	27,548	31,697	-	85

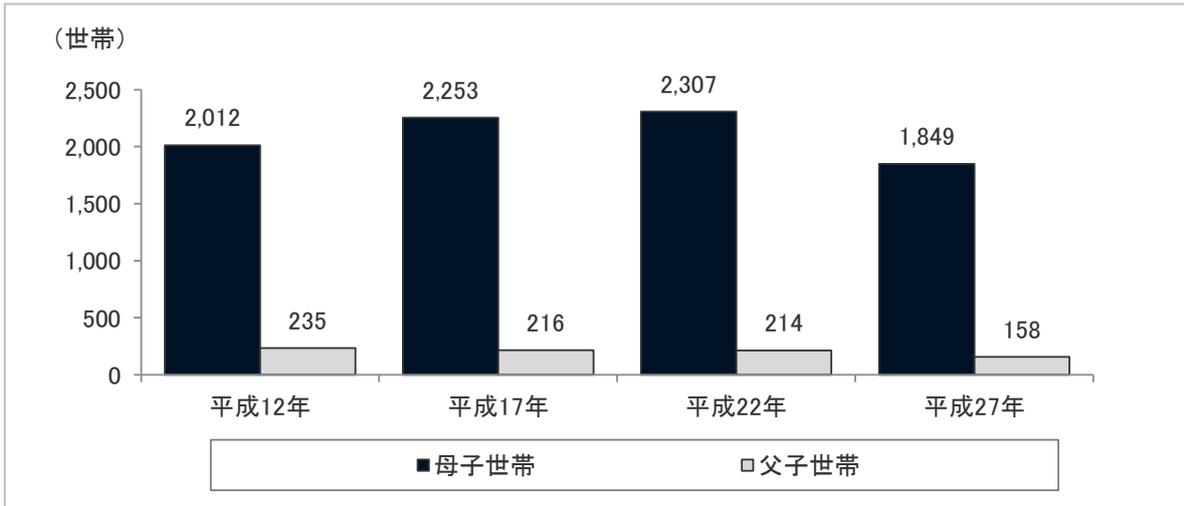
資料：国勢調査（各年10月1日）

② 母子世帯数・父子世帯数の推移

平成12年以降の母子世帯数は増加傾向にありましたが、平成27年は減少に転じています。また、父子世帯数についても平成27年は減少に転じています。

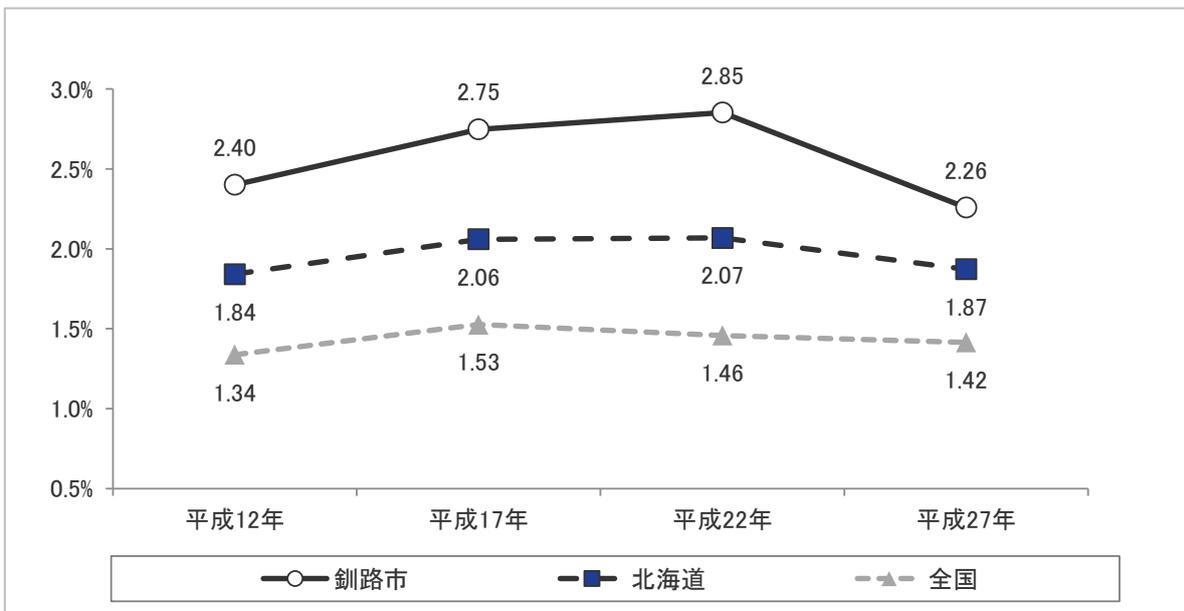
なお、一般世帯に対する母子世帯の割合については、北海道及び全国より高い水準で推移しています。

■ 母子世帯数・父子世帯数の推移



資料：国勢調査（各年10月1日）

■ 一般世帯に対する母子世帯の割合の推移

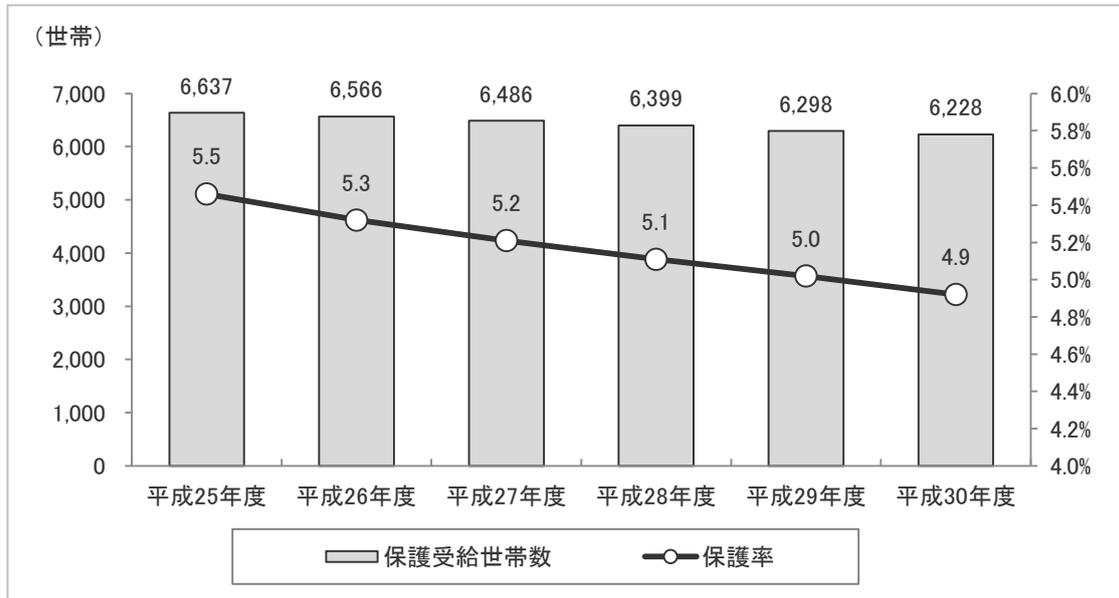


資料：国勢調査（各年10月1日）から算出

③ 生活保護世帯数の推移

生活保護世帯数、保護率の推移をみると、平成30年度は6,228世帯、保護率は4.9%と、減少傾向で推移しています。

■ 生活保護受給世帯数の推移



資料：福祉行政報告例（生活保護法）

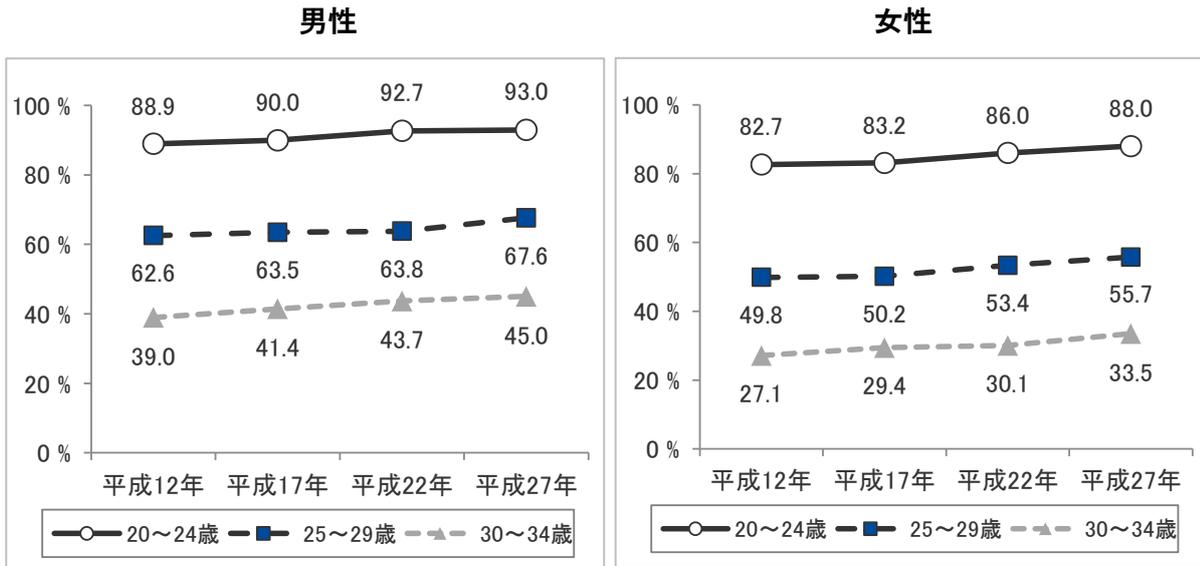
(4) 婚姻の状況

① 未婚率の推移

平成12年以降の年齢別未婚率、生涯未婚率は、男女とも増加傾向で推移しています。

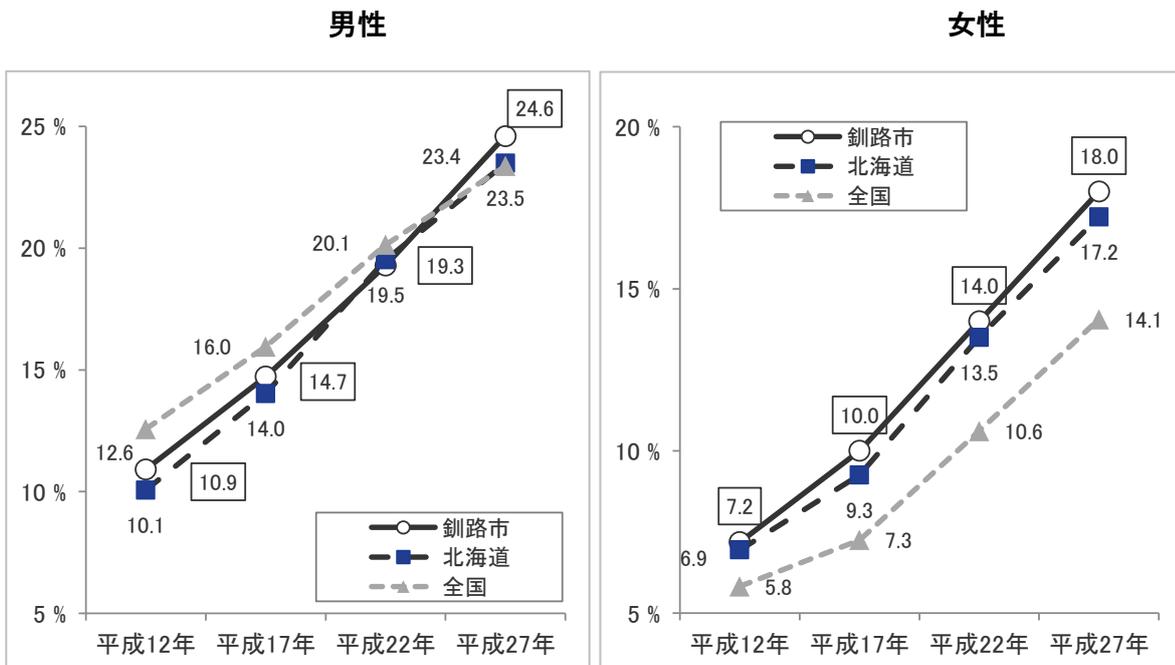
特に女性の生涯未婚率は、北海道及び全国より高い水準で推移しており、平成27年には18.0%と、平成12年と比較すると10ポイント以上増加しています。

■ 年齢別未婚率の推移



資料：国勢調査（各年10月1日）から算出

■ 生涯未婚率の推移



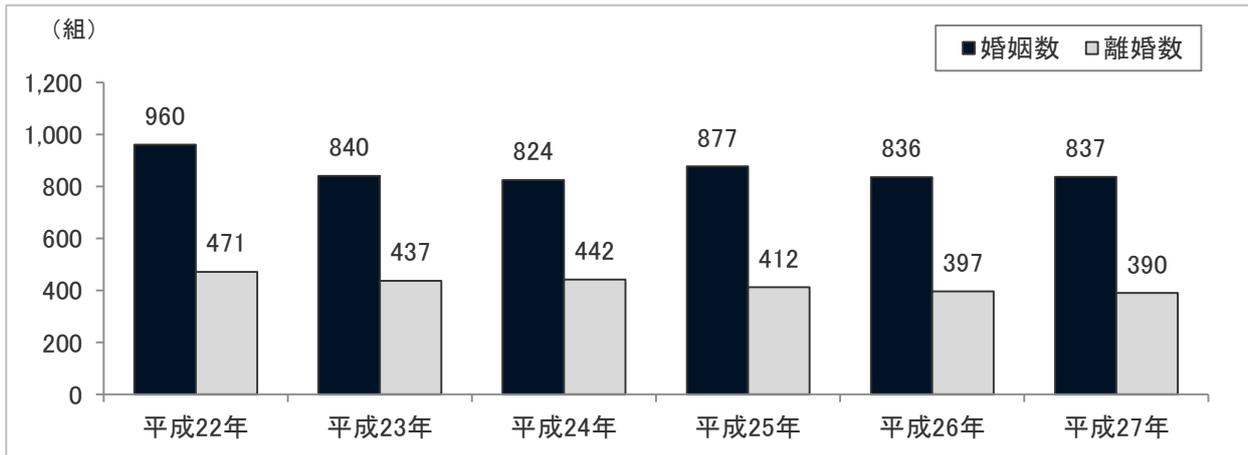
資料：国勢調査（各年10月1日）から算出

② 婚姻組数・離婚組数、離婚率の推移

婚姻組数は、平成23年以降、800人台で推移しています。

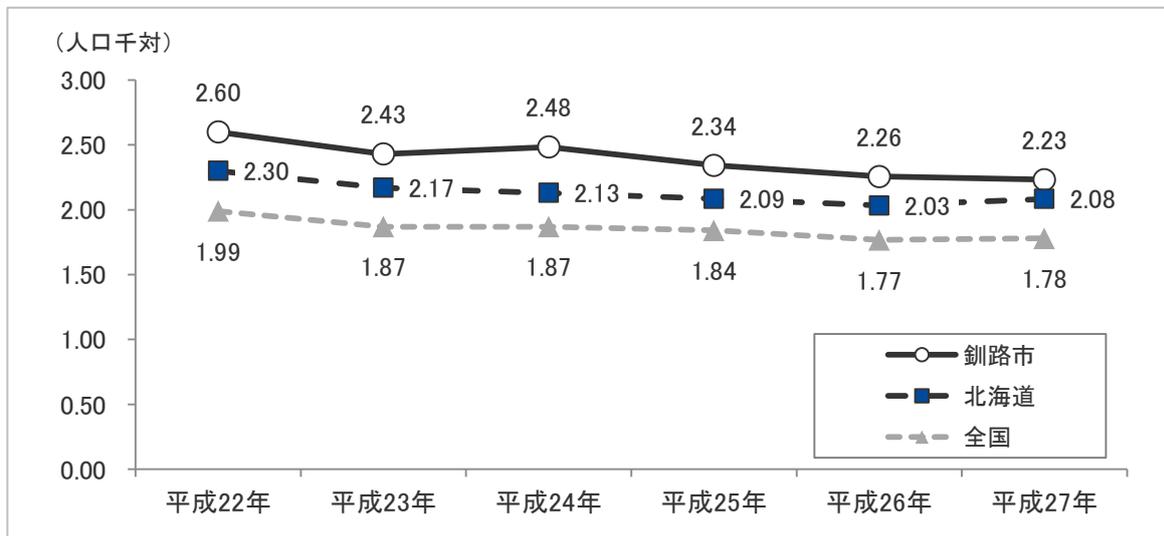
また、離婚組数は減少傾向で推移しており、離婚率についても、ほぼ横ばいから減少傾向で推移しているものの、北海道及び国より高い水準で推移しています。

■ 離婚組数の推移



資料：釧路根室地域保健情報年報

■ 離婚率の推移



資料：釧路根室地域保健情報年報

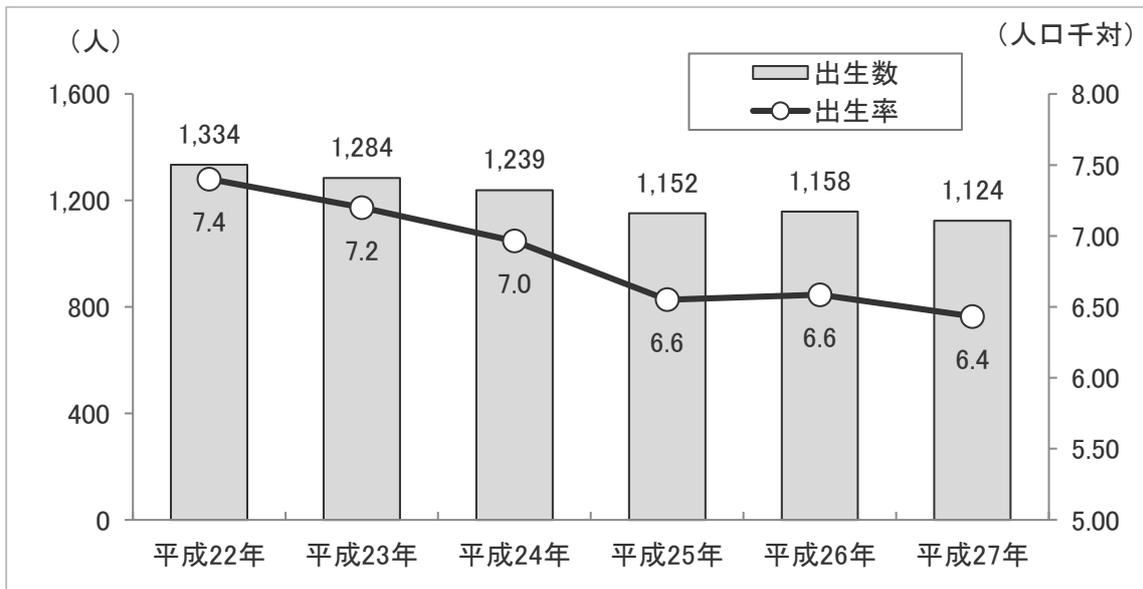
(5) 出生の動向

出生数は、減少傾向で推移しており、平成27年は1,124人となっています。

出生率も同様に減少傾向で推移しており、平成27年は6.4‰となっています。

また、平成20～24年の合計特殊出生率（一人の女性が一生のうちに産む子どもの平均数）は、1.35であり、平成15～19年と比較すると0.3増加して、北海道の水準は上回っているものの、国の水準は下回っています。

■ 出生数、出生率の推移



資料：釧路根室地域保健情報年報

■ 合計特殊出生率

	平成15年～平成19年	平成20～平成24年
釧路市	1.32	1.35
北海道	1.19	1.25
全国	1.31	1.38

資料：厚生労働省人口動態統計特殊報告

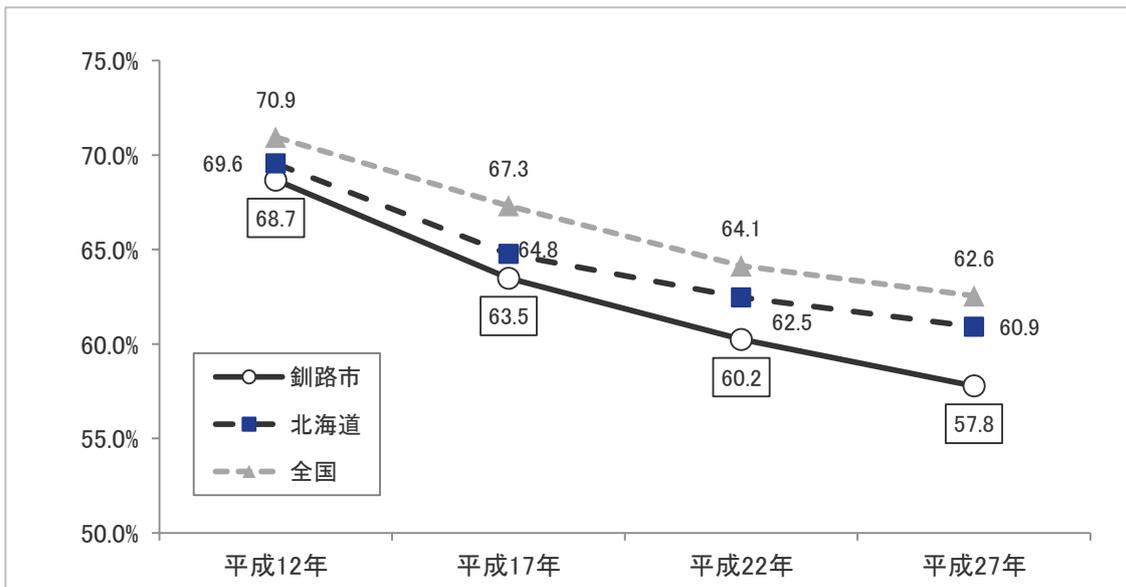
(6) 就労の状況

① 就業率の推移

平成12年以降の男性の就業率は、高齢化に伴い、北海道及び国と同様に減少傾向にあり、平成27年は57.8%と、平成12年に比べて10ポイント以上減少しています。

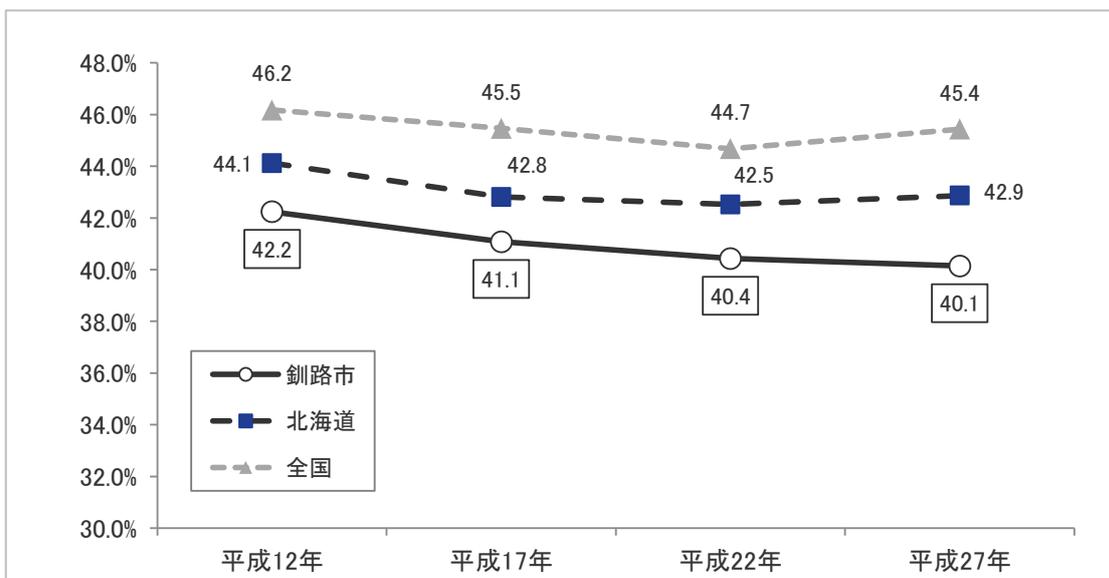
また、女性の就業率も若干ではあるものの減少がみられ、男女とも北海道及び国より低い水準で推移しています。

■ 男性の就業率の推移



資料：国勢調査（各年10月1日）から算出

■ 女性の就業率の推移

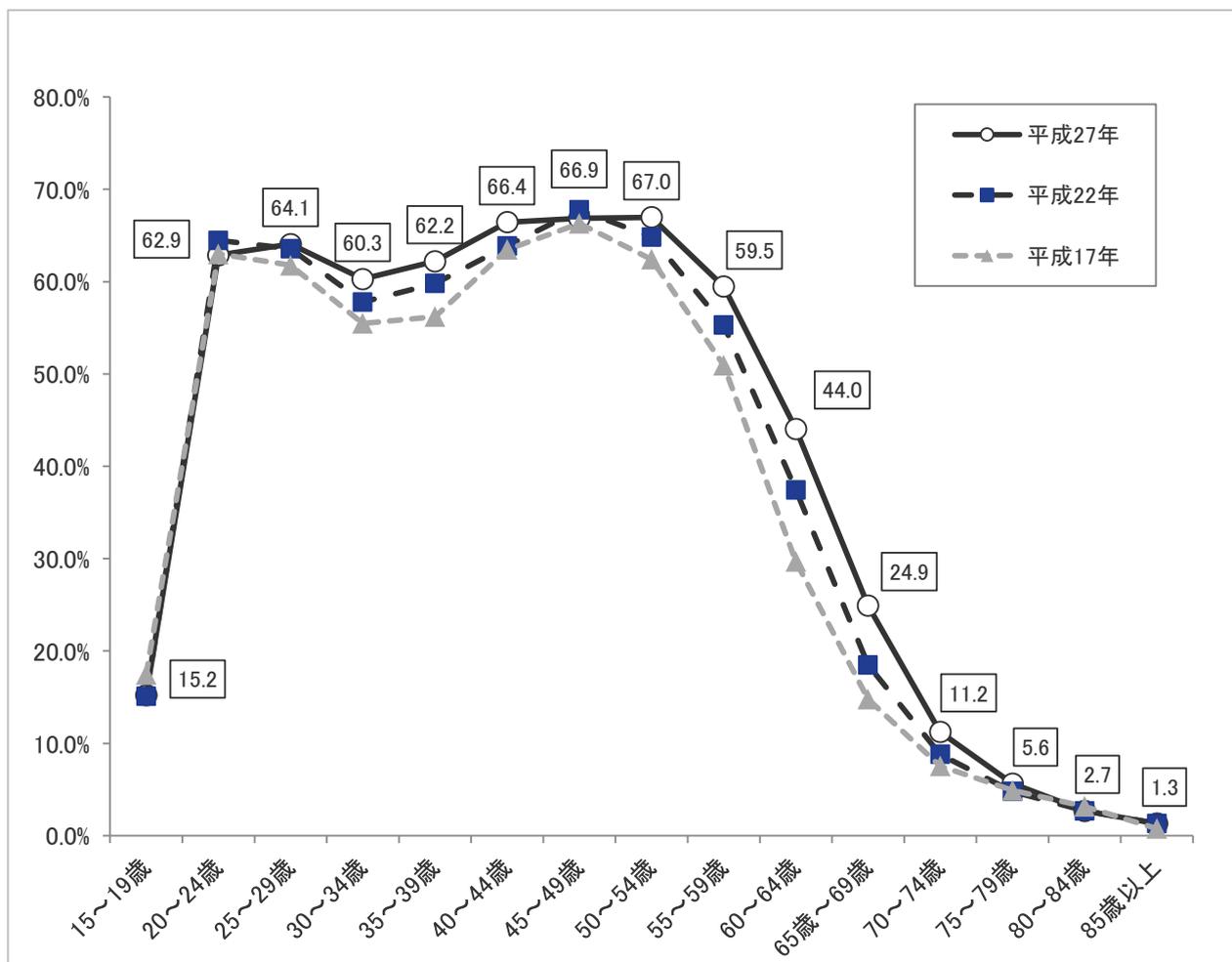


資料：国勢調査（各年10月1日）から算出

② 女性の年齢階層別就業率

女性の年齢階層別就業率をみると、結婚・出産・子育て期に就業率は減少し、その後、子育てが終わった時期にかけて再び増加する、いわゆるM字カーブと言われる状況は、平成17年には顕著に表れていたものの、徐々にカーブが緩くなっています。

■ 女性の年齢階層別就業率の推移



(注) グラフ中のデータは平成27年のみ掲載

資料：国勢調査（各年10月1日）から算出

2. 地域における子育て支援事業の利用状況

(1) 教育・保育施設等

市内の教育・保育施設等の利用状況は次のとおりです。

① 幼稚園の設置状況、利用状況

平成30年度において本市に設置されている幼稚園は、公立3箇所、私立16箇所の、計19箇所となっています。

認定こども園への移行等に伴い、幼稚園数は減少しており、在籍児童数も減少傾向で推移しています。

■ 幼稚園の設置数・定員数・在籍児童数

		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
設置数	公立	箇所	3	3	3	3	3
	私立	箇所	26	26	25	21	16
	計	箇所	29	29	28	24	19
定員数		人	3,800	3,975	3,820	3,390	2,130
在籍児童数		人	2,458	2,378	2,209	1,891	1,499
充足率		%	64.7	59.8	57.8	55.8	70.4

資料：こども育成課統計資料（各年5月1日現在）

② 保育所の設置状況、利用状況

平成30年度において本市に設置されている保育所は、公立6箇所、私立13箇所の、計19箇所となっています。

幼稚園と同様、認定こども園への移行等に伴い、保育所数は減少しており、在籍児童数も減少傾向で推移しています。

■ 保育所の設置数・定員数・在籍児童数

		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
設置数	公立	箇所	7	6	6	6	6
	私立	箇所	19	20	20	16	13
	計	箇所	26	26	26	22	19
定員数		人	1,855	1,830	1,830	1,540	1,330
在籍児童数		人	1,606	1,673	1,756	1,458	1,224
充足率		%	86.6	91.4	96.0	94.7	92.0

資料：こども育成課統計資料（各年4月1日現在 定員数は平成26年まで認可定員、平成27年度以降は利用定員）

③ 認定こども園の設置状況、利用状況

認定こども園とは、幼稚園の機能と保育所の機能を併せ持つ施設で、本市では、平成28年度に1箇所設置され、その後、認定こども園への移行推進に伴い、設置箇所数を増やしています。

平成30年度において本市に設置されている認定こども園は、いずれも私立の15箇所となっており、幼保連携型、保育所型の充足率が高く、特に幼保連携型は100%を超えています。

■ 認定こども園の設置数・定員数・在籍児童数

		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
設置数 (私立)	幼保連携型	箇所	1	2	3
	幼稚園型	箇所	0	4	7
	保育所型	箇所	0	3	5
	計	箇所	1	9	15
幼保連携型	定員数	人	100	190	265
	在籍児童数	人	93	200	278
	充足率	%	93.0	105.3	104.9
幼稚園型	定員数	人	0	200	565
	在籍児童数	人	0	153	473
	充足率	%	0	76.5	83.7
保育所型	定員数	人	0	200	350
	在籍児童数	人	0	192	349
	充足率	%	0	96.0	99.7

資料：こども育成課統計資料（各年4月1日現在）

④ 地域型保育施設の設置状況、利用状況

地域型保育施設とは、子どもの成長を支援するために、認可保育所（原則20名以上）より少人数の単位で、0歳から2歳児までの子どもを預かる施設（小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育）です。

本市では、平成27年度に1箇所設置し、地域における多様な保育ニーズにきめ細かく対応する質が確保された保育を提供するため、設置箇所数を増やしています。

平成30年度において、本市に設置されている地域型保育施設は、いずれも私立の5箇所となっており、在籍児童数も増加傾向にあります。

■ 地域型保育施設の設置数・定員数・在籍児童数

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
設置数	公立	箇所	0	0	0	0
	私立	箇所	1	2	3	5
	計	箇所	1	2	3	5
定員数		人	5	20	35	58
在籍児童数		人	6	11	26	48
充足率		%	120.0	55.0	74.3	82.8

資料：こども育成課統計資料（各年4月1日現在）

⑤ 放課後児童クラブの設置状況、利用状況

放課後児童クラブは、放課後、就労等の理由で家庭に保護者がいない子どもたちが、安全で楽しい時間を過ごすための施設です。

平成30年度においては、市内21箇所の児童館・児童センター内で実施する児童クラブのほか、新陽放課後児童クラブ、阿寒放課後児童クラブを設置しています。

年間の延べ利用者数は、増加傾向で推移してきましたが、平成28年度をピークに若干減少しています。

■ 放課後児童クラブの設置状況、利用状況

	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
設置数	箇所	23	23	23	23	23
年間利用者数	延人／年	221,665	253,784	262,621	254,648	231,396

資料：こども育成課統計資料（児童館利用統計）

(2) 地域子ども・子育て支援事業等

「釧路市子ども・子育て支援事業計画」において定めた地域子ども・子育て支援事業の実施状況は次のとおりです。

① 時間外保育事業（延長保育事業）

区分	単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
実利用者数(A)	実人	890	928	831	849
確保方策(B)	実人	1,810	1,810	1,810	1,810
差(B-A)	実人	920	882	979	961
実施箇所数	箇所	25	26	26	26

② 放課後児童健全育成事業

区分		単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
実利用者数	<低学年>	実人	—	—	746	674
	<高学年>	実人	—	—	124	119
	合計(A)	実人	862	897	870	793
確保方策(B)		実人	2,867	2,867	2,867	2,867
差(B-A)		実人	2,005	1,970	1,997	2,074
実施箇所数		箇所	23	23	23	23

③ 子育て短期支援事業（ショートステイ）

区分	単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
年間延べ利用者数(A)	延人／年	66	59	146	87
確保方策(B)	延人／年	130	130	130	130
差(B-A)	延人／年	64	71	▲ 16	43
実施箇所	箇所	1	1	1	1

④ 地域子育て支援拠点事業

区分	単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
月間延べ利用者数(A)	延人／月	4,147	4,572	4,682	4,034
確保方策(B)	延人／月	6,166	6,166	6,166	6,166
差(B-A)	延人／月	2,019	1,594	1,484	2,132
実施箇所	箇所	7	7	7	7

⑤ 一時預かり事業（幼稚園型）

区分	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年間延べ利用者数(A)	延人／年	95,603	94,422	90,625	91,175
確保方策(B)	延人／年	727,030	726,965	726,910	726,856
差(B-A)	延人／年	631,427	632,543	636,285	635,681
実施箇所	箇所	25	25	25	23

⑥ 一時預かり事業（幼稚園型を除く）

区分	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年間延べ利用者数(A)	延人／年	2,021	1,564	1,975	1,819
確保方策(B)	延人／年	83,772	83,772	83,772	83,772
差(B-A)	延人／年	81,751	82,208	81,797	81,953
実施箇所	箇所	8	8	8	8

⑦ 病児保育事業

区分	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年間延べ利用者数(A)	延人／年	0	67	32	55
確保方策(B)	延人／年	900	900	900	900
差(B-A)	延人／年	0	833	868	845
実施箇所	箇所	0	1	1	1

⑧ 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）※

区分	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
年間延べ利用者数	<低学年>	延人／年	728	712	753	703
	<高学年>	延人／年	151	289	419	337
	合計(A)	延人／年	879	1,001	1,172	1,040
確保方策(B)	延人／週	855	855	855	855	
実施箇所数(B-A)	箇所	1	1	1	1	
支援会員数	人	292	312	319	326	

※ 就学児童対象

⑨ 利用者支援事業

区分		単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
実施箇所数	基本型・特定型※ ¹	箇所	0	0	0	0
	母子保健型※ ²	箇所	0	0	0	0
	合計(A)	箇所	0	0	0	0
確保方策(B)		実人	0	0	0	0

※¹ 基本型・特定型：職員配置－専任職員（利用者支援専門員）を1名以上配置

※² 母子保健型：職員配置－母子保健に関する専門知識を有する保健師、助産師等を1名以上配置

（注）令和元年6月から利用者支援事業開始

⑩ 妊婦健康診査

区分	単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
年間妊婦健診受診回数(A)	延回／年	12,992	11,960	11,125	11,818
確保方策(B)	延回／年	10,660	10,012	9,636	9,273
差(B-A)	延回／年	▲ 2,332	▲ 1,948	▲ 1,489	▲ 2,545

⑪ 乳児家庭全戸訪問事業

区分	単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
年間実施世帯数(A)	実世帯	920	787	689	731
確保方策(B)	実世帯	920	864	832	800
差(B-A)	実世帯	0	77	143	69

⑫ 養育支援訪問事業

区分	単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
年間実施世帯数(A)	実世帯	383	466	435	464
確保方策(B)	実世帯	624	624	624	624
差(B-A)	実世帯	241	158	189	160

(3) 子育て支援整備の状況

① 地域子育て支援拠点センター等

保育士などの専任の職員を配置し、子育て家庭の育児不安等について相談や助言、子育てに関する情報提供、子育てサークルの育成・支援を行うことにより、地域全体で子育て支援を行っています。

第1期計画期間中においては、平成28年7月から釧路市中部子育て支援拠点センターサテライト（支援センター）を開設し、利用者の利便性改善を図っています。

支援拠点センター	
支援拠点センター	釧路市東部子育て支援拠点センター
	釧路市中部子育て支援拠点センター
	釧路市西部子育て支援拠点センター
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・ 子育て等に関する相談、援助の実施 ・ 地域の子育て関連情報の提供 ・ 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 ・ 地域支援活動の実施

支援センター（小規模）	
支援センター （小規模）	釧路はるとり保育園子育て支援センター （運営：社会福祉法人釧路若草会）
	釧路風の子保育園子育て支援センター （運営：社会福祉法人釧路まりも学園）
	釧路市中部子育て支援拠点センターサテライト
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児不安等についての相談指導 ・ 子育てサークル及び子育てボランティアの育成・支援 ・ 地域の保育資源の情報提供等

親子つどいの広場	
つどいの広場	親子つどいの広場 （昭和中央児童センター内）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て親子の交流及び集いの場の提供 ・ 子育てに関する相談及び援助 ・ 地域の子育て関連情報の提供 ・ 子育て及び子育て支援に関する講習会の実施

② 児童発達支援センター

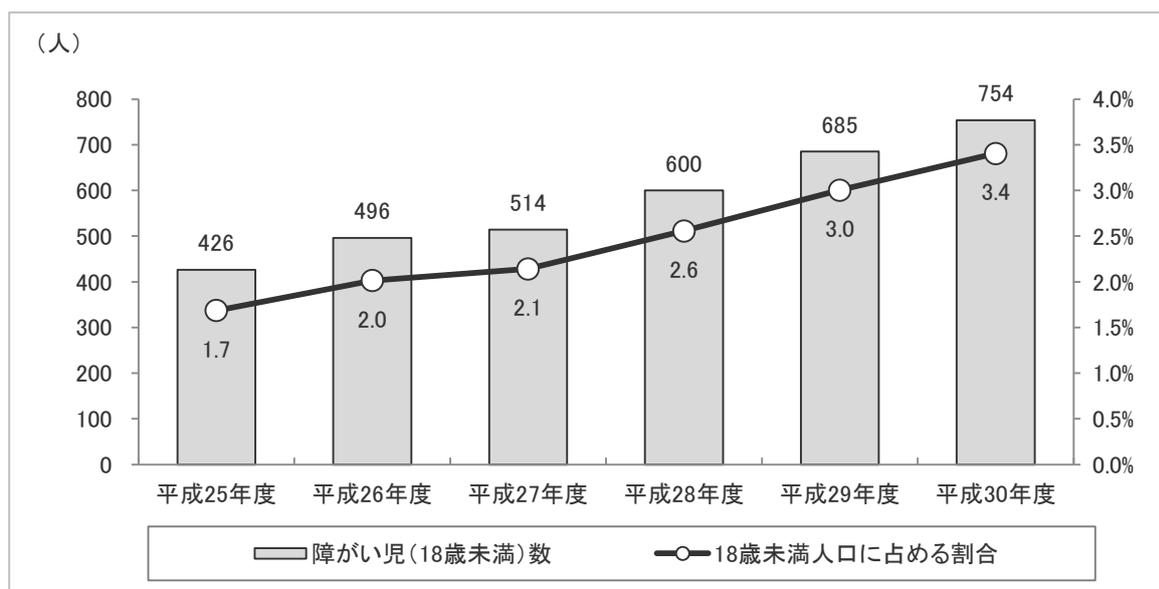
保育士などの専門職員を配置し、お子さんの心身に関する相談に応じたり、発達の遅れや障がいのあるお子さんへの療育と支援を行っています。

なお、障がい児（18歳未満）数（障害児通所支援の支給決定者数）は、増加傾向で推移しており、平成30年度は754人となっています。

■ 児童発達支援センターの概要

名称	事業概要
地域支援相談室	運動やことば、コミュニケーション等の発達相談、個別指導、保育所等訪問支援、障がい児相談支援等の地域支援を行っています。
野のはな園	障がいのあるお子さんに対し、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応のための支援など、通園による児童発達支援を行っています。

■ 障がい児（18歳未満）数の推移



資料：障がい福祉課資料（障害児通所支援 支給決定者数：児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）

③ 児童館・児童センター

18歳未満の子どもを対象に健全な遊び場を与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするため、児童館・児童センターを市内21箇所に設置しています。

■ 児童館の設置状況、利用状況

	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
設置数	箇所	21	21	21	21	21
年間延べ利用者数	延人／年	295,171	322,084	326,944	314,087	286,587

資料：こども育成課統計資料（児童館利用統計）

④ 阿寒町子ども交流広場

保護者が労働等により昼間家庭にいない身辺自立ができ集団活動が可能である未就学児（園児）に対する安全な遊び場の提供と未就園児とその保護者に対する交流の場を提供するため、阿寒幼稚園内空き教室を利用して子ども交流広場を開設しています。

⑤ 阿寒湖温泉子供交流館

児童に健全な遊び場を与えてその健康を増進し、情操を豊かにするとともに、地域組織活動の育成助長に資するため、子供交流館をマリモ幼稚園に併設しています。

⑥ 音別町放課後子ども広場

放課後の子どもたちを健やかに育てることができるよう遊びの場を提供するとともに、日中留守家庭となる児童も安全に過ごせる適切な場を確保することを目的として、小学校1年生から6年生までの身辺自立ができ集団活動が可能な児童を対象に、音別町ふれあい図書館内に音別町放課後子ども広場を開設しています。

⑦ 放課後チャレンジ教室（放課後子ども教室）

児童の安全・安心な居場所づくりを目的とし、近隣に児童館がない興津小学校において放課後チャレンジ教室を開設しています。

単なる居場所づくりにとどまらず、文化学習やスポーツなど高い水準の活動内容となっており、地域の方々の参画を得ながら、1年生から6年生の異学年交流を促す環境づくりを実施しています。

⑧ 子ども食堂・学習支援

学校・家庭・地域が連携して子どもたちの健やかな成長を見守り育むことを目的に、ボランティアの運営により、子ども食堂や学習支援が実施されています。

■ 子ども食堂・学習支援の実施箇所数

	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
子ども食堂	箇所	2	3	6	7	7
学習支援	箇所	2	3	5	6	6